



愛をもって人生にエールをおくる

IGLグループ

IGL Group Profile Book

たより IGL



本年度IGLグループは
50周年をむかえます。
IGLナーシングホームシャレー

ベルローゼ・デイケア
隣人愛の原点
『信仰のジャンプ』

vol.
125号
2018年6月1日発行

Love has just begun.

It will be stronger and never die ...

はじめに愛があった。

IGLグループ理事長 永見憲吾



本年度IGLグループは50周年をむかえます。

7月28日(土) (於)リーガロイヤルホテル広島

50周年のときを迎え、このIGLグループの歩みと理念等を、たよりIGL100号記念に取材があり、その記事を掲載していましたので改めて、再度掲載しIGLグループの歩みと夢を学びたいと思います。

人生

全人類はたった一つの先祖しかもっていない。だから、どの人間がどの人間よりもすぐれているということはない。もしあなたが一人の人間を殺したとすれば、それは全人類を殺したにひとしい。また、一人の人間の生命を救えば、それは全人類の運命を救ったにひとしいのだ。なぜならば、世界は一人の人間によって始められ、その最初の人間を殺したとすれば、人類は今日なかったからである。

自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい。

一連の施設設立に関しては、なにか構想があったのでしょうか？

永見:はい。私はIGLをスタートさせる際、愛と平和、人間尊重の理念に立って、幼児期から土に返るまでの人間の一生をあたたく見守りたいと、願いました。その思いにしたがって、すべての人が生ある喜びをわかちあえる理想郷をつくりたいと考えたのです。昭和60年になると、特別養護老人ホーム「ナーシングホームゆうゆう」を開設。平成5年、人材育成としてのIGL健康福祉専門学校を開設し、「乳幼児期からお年寄りにいたる」コミュニティセンターの基礎をようやく完成させました。

IGLのさまざまな活動をささえる理念とは、どういふものなのでしょう？

永見:IGLではキリスト教精神にもとづく“隣人愛”を理念としています。「自分を愛するようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書のメッセージの“隣人愛”とは、謙虚な愛と感謝の気持ち、笑顔と挨拶、生きた言葉かけと言いかえることが出来ます。そして、それらは人の生きる力を引き出します。私たちIGLは、愛をもってすべての人生にエールをおくりたいと願っています。

それでは、“隣人愛”のもと、形成される理想郷とは、どんな環境なのでしょう？

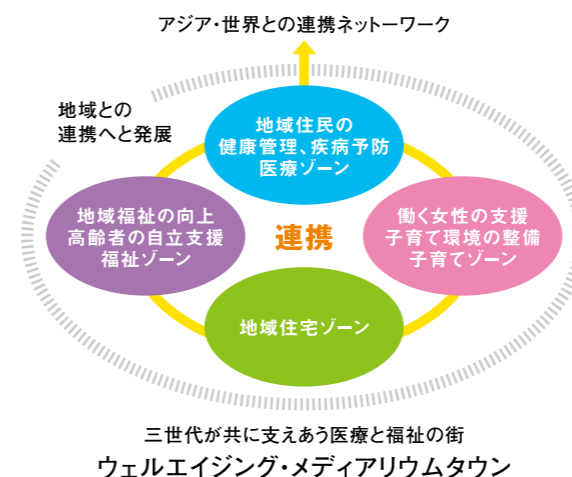
永見:IGLは、利用する人、生活する人、働く人が気持ちよく明るい希望を持って過ごせる、まるで一本一本の花がそれぞれの個性を輝かせ、ささえあう花束のような環境づくりをめざしています。最大の環境である人が生き生きとして、隣人愛のころころを実践し、清潔感あふれるあたたかい環境がこれをつみこむ、これがIGLの願う「もてなし」と考えています。



環境は人をつくる。しかし、最大の環境は人である。

IGLの夢 ウェルエイジング・メディアリウムタウン構想

祖父母世代から孫までがともに暮らしを支えあう医療と福祉の街作りを基本に全ての世代、国籍、性別、年齢を超え応援するやさしい街づくりを目指しています。IGLの目指す教育・福祉施設、福祉サービスと医療の連携をはじめとする人と人が支えあい、認め合う「共生」を目指した、バリアフリー対応の複合医療福祉の街は社会で普遍的に求められていると考えております。



アジアとの共生

日本はこれまで幾多の経済危機を乗り越えアジアで一番早い経済大国、教育システム、福祉システムを構築してきました。その成長はアジア諸国の現地の方々への働きや支援によって形成されたとはいえます。今アジアは発展途上から高度成長へ向かっています。日本とアジアの友好関係とは人の交流が第一歩ではないでしょうか？ IGLは今留学生を受入れています。アジア各国に未来の福祉分野におけるリーダーを育て送り出すことにも力を注ぎたいと考えています。日本語能力を身につけ、日本の福祉制度を学び、日本式もてなしの心を知り、それを各国に合った形に変容できる若者を育てることはアジアの友好関係の形でありそれは将来互いに施設同士の人材交流につながっていくことでしょう。

団塊世代の豊かな老後

日本では社会保障制度の崩壊が不安のひとつにあります。退職後の高齢者も即引退ではなく多くの選択を自分自身で考えグローバルな視点で準備をしていく時代となりました。元気な前期高齢者は近隣のアジアのデラックスな老人施設に一時ステイしながら人生を謳歌し、今までの人生経験を活かし各分野での指導をしながら年金で豊かな生活をする。そしてご自身の状態に合わせて日本との往来、または帰国を検討することも可能でしょう。上記の留学生は未来のリーダーとしていつか日本又各国で活躍する時がくるでしょう。そうしたアジアの若者と日本の高齢者がどこかでまためぐり合い、若者も高齢者もどちらも豊かな人生、豊かな国の将来を担えるよう安心できるシステムの構築を目指しています。

最後に皆さまにメッセージをお願いします。

永見:私たちIGLは、「いつも共にある」を基本とし、同じ気持ちでその人の心の悩みの解決に少しでも関わる心のケアまでできれば、物的環境のみならず、人的環境の備わった素晴らしい教育・福祉集団になっていけると信じております。これこそIGLの理念である、“隣人愛”の生きた証です。そしてIGLと関わる保護者、ご家族、ご本人、教職員、そして地域の皆さまが、ともに一体となって、このような環境づくりを築き上げていけるならば、なんとすばらしいことでしょうか。どうか、これからも皆さまのご協力をよろしく願い申し上げます。

はじめに愛があった。

まず、最初にグループ形成の経緯について、教えてください。

永見:昭和40年頃、ヒロシマの平和運動の原点ともいえる『広島ワールドフレンドシップセンター』において、バーバラ・レイノルズ女史と出会ったのが、最初のきっかけでした。「私の心はいつもヒロシマとともにある」と語っていた女史は、ヒロシマの体験を世界に伝え、平和運動に一生を捧げた方です。そんな女史の活動を通じて、若く志に燃えていた私は、生きる目的は人々の平和と幸せを実現することにあるのではないかと、あらためて気づきました。当時は平和運動とともに、学生運動も華やかなりし頃で、センターには色々な人たちが出入りしており、活気に満ちていました。そんな中、「安古市に適当な土地があるので、平和運動に利用しないか」という話が、ある方から持ち込まれたのですが、予算的な面から実現はかないませんでした。しかし、とかく名前だけにおちいりやすい平和運動を、生きた活動として根づかせていくには、なにか具体的な取り組みを通じて、カタチにしていく必要があります。そこで、私は同じような志を抱える数名の人たちとともに検討した結果、昭和44年4月、学校法人IGL学園の基礎を創立。これがIGLグループの出発点となりました。

最初に幼児教育に着手したのは、なにか理由があるのですか？

永見:幼児教育から着手しようと思ったのは、21世紀をになうのは子どもたちです。その子どもたちの持てる能力、得手・不得手に応じて、それぞれの専門分野に進出し、より良き明日の日本、世界を築いてくれるならば、これほど大きな平和運動はないと確信したからです。それに、一人の人間の一生が成し得ることは微々たるものですが、次代を担う幼子らは無限に広がっていきます。継続的に平和な社会を築いていくには、子どもたちに夢を託すのが一番だと考えたのです。これ以後、各地域に幼稚園施設を開設し、昭和55年には社会福祉法人IGL学園福祉会を設立。さらに翌年4月には保育園も設立しました。また、昭和57年には青少年の健康教育を願い、スイミングスクール施設を建設するなどしてきました。



健康増進施設
クアリウムシャレール



介護老人福祉施設
IGLナーシングホームシャレール



介護老人保健施設 ベルローゼ
ケアハウスふれ愛



サムエル西条こどもの園

愛の中で優しさが育ち、 遊びの中で生きる力が育まれる

このはなのように
うつくしいこころを
かみさまくださいます
ちいさなわたしにも

キリスト教保育

神さまの大きな恵みの中で、私たちは安心して過ごしています。日々の生活の中でそのことに気づき、身近なものに感謝する心を育てます。自然の恵みを見たり触れたりする中で、「きれいだね」「うれしいね」といった気持ちを感じたり、美しいものや豊かな恵みをくださった神さまにありがとうの感謝の気持ちが育つように礼拝の中でお話します。

ホールでの礼拝



花の日礼拝

おうちから持ち寄った沢山の花を囲んで礼拝を守ります。乳児の子ども達も保育者が恵みに感謝し祈る姿を見て、自然と“ありがとう”の気持ちが育まれていきます。

それは命でしょ!



わー開いた。中に何が
ある?

進級した喜びを感じながらの外遊び。花壇で見つけたチューリップを覗き込んでいます。きれいな色や優しい香りに心も洗われます。

お部屋での
小さな礼拝



花の日訪問



IGL
デイサービス
美鈴が丘
にお花を届けに
行きました。

育ち合い ～異年齢の関わりの中で～

サムエルでは子ども同士の関わりの中で育ち合うことを大切にしています。あそびの中で子ども達が異年齢で関わることも沢山あります。4月生まれの子も3月生まれの子も、小さい子の立場になったり自分より小さい子がいる立場になったりします。このことが、“一人ひとりが育つ”ということにおいて、とても大切なことだと考えています。また、大きい子が小さい子の手本になり、ふるまいや言葉で伝えたり、小さい子は大きい子に憧れを持って、そのようになりたいと真似をします。

大丈夫?

うん、
待って、
ゆっくりね



自分より大きい友達
している事を見て試してみたり、
教えてもらってやってみたり…
沢山のことを知っていきます。

そうそう、
そうしたら
いいね

できた
じゃん



見とって
ごらん

認定こども園サムエルこどもの園では…

- 子どもの自発性で主体的な「遊び」を中心にした生活を育む。
- 家庭と園が連携して子育てを行う。
- 社会で生きていくための根本の力を育む。
- 子どもの尊厳を重んじ、一人ひとりの個性を大切にする。
- 同年齢、異年齢の中で育ち合う。

自ら考え、自ら判断し、 自ら行動できる子どもに…

子どもたちは遊びや生活の中で、様々なことを学び、生きる力を育てています。サムエルではのびのびとした自由な活動の中で、大人主体ではなく子どもが主体となって遊ぶことを大切にしています。この経験が、将来自分の力で困難な状況を乗り越え、心豊かに生きることへとつながっていくことを願っています。

よし。上まで登るぞ!
昨日より高くのぼりたい!



自分なりの目標を持って
ジャングルジムに登ったり、
自分の力を試しながら
体の使い方をあそびの中で
知っていきます。

「自分で登れたね」
「ここまでできたんだね。」
そばでみている保育者が一人ひとりの
持っている力を認めることで、
子ども達は自信と意欲をもって
過ごす事ができます。



もしもし…

はい
なあに?



見立て
遊び

フェルトを貼った板を
携帯電話にして会話。
普段の生活では
「ねえねえ…」の呼びかけも
道具一つで変わります。

壁面
あそび



信号が
青になったから
わたりま〜す!

あそびの中で
交通ルールを知っていきます。
お散歩に出かける時も
ルールを守って歩きます。

どの色を
使おうかな



これ
がっこいい?

こいの
ぼり
製作

自分の好きな色を選んで作る
自分だけのこいのぼり。
お友達の作品を
「きれいにできとるね」と
認め合いながら
あそぶ姿もあります。

人を全人的に理解し 高い技術とあたたかい心で人を癒す

IGL医療福祉専門学校

卒業生

プロフェッショナル
人物伝

Vol.
04

IGL医療福祉専門学校は、医療・福祉のプロフェッショナル養成校。本校を卒業された皆さんは、介護福祉士、はり師・きゅう師、柔道整復師、歯科衛生士の「国家資格」を取得し、さまざまなフィールドでその道のプロとして、技術や知識、そして経験を生かして活躍しておられます。

本校卒業生の皆さんの、資格や学科を志した思い、その思いや夢などを叶えたプロセス、そして今に至るご活躍のストーリーをお伝えする、「卒業生・プロフェッショナル人物伝」。

第4号は、この春からIGLの高齢者施設での外国人介護福祉士第1号として仕事を始めた、中国出身の郭秋怡(カクシュウイ)さんです。

日本留学のきっかけ

郭さんは、2015年10月、中国・四川省の成都市よりIGL医療福祉専門学校・日本語学科に留学、翌年4月から2年間の介護福祉学科での勉強を経て、今年3月末、卒業と同時に介護福祉士を取得しました。

成都では、日本の高校の看護科にあたる成都鉄路衛生学校で3年間、看護師になるための勉強をしました。入学式の日にお父さんと一緒に、海外担当の先生から「日本留学の道がある」という話を聞いたことが、広島への第一歩でした。

ここで聞いた日本留学の道は、「日本の介護福祉士になって日本で働き、日本の先進の介護を習得、将来の中国の高齢化に専門家として貢献する」というビジョンでした。

中国では今も、介護と聞くと、身寄りのない高齢者を保護する養老院でのお世話というイメージに捉えられるようです。看護師になるつもりで、介護には知識も興味もなかった郭さんでしたが、日本のアニメが好きだったため、「私でも日本に行けるのかな!？」と、少しだけそのビジョンに心が動きました。



社会福祉法人IGL学園福祉会
介護福祉士

カク シュウイ
郭 秋怡さん

日本語学科 2015年入学(13期生)
介護福祉学科 2018年卒業(24期生)

ご両親と
(2015年撮影)



ご利用者さまと



よりよい医療・福祉サービスを提供するには、優れた人材の育成が不可欠です。

そこでIGLでは、医療・福祉の現場で活躍する人材を育成する専門学校を設立。

本校の校訓である「自信と謙遜」の心を養い、人格を磨き、深い人間愛に立脚した福祉・医療のスペシャリストを育成しています。

グループ内にある各施設と連携して、実際の現場のなかで技術と思いやりの精神が磨けるのは、IGLならではの特徴です。

お父さんの熱意で介護留学

むしろお父さんの方が、「若いうちに海外で経験が積めるチャンスがあるなら」と、熱心に介護についてインターネットなどで調べていくうちに、この仕事の意義と、将来性に気づかれます。その情報と、先生の話したビジョンが一致。お父さんの後押しで、郭さんは「介護留学コース」を選択し、看護師の勉強に加えて、3年間日本語と介護を勉強しました。

介護の仕事の意義は、IGLの介護福祉学科に進学した後、実習に入ってから、本当の意味でわかるようになりました。

介護について、日本に来るまでは、授業や海外担当の先生から

“聞いた話”が中心でした。日本に来てからの半年は、日本語の勉強だけで精一杯。介護福祉学科に同期で進学した中国人留学生は、日本語学科に一年早く入学していたので、自分だけ日本語コミュニケーションについていけないと、悩む日々。

そんな状態で、不安のまま迎えたIGL施設での一回目の実習で、思いがけず優しく受け入れてもらい、自信がなかった日本語も、「こんなに話せるの? すごいね!」と誉められます。これで一気に介護が楽しくなり、勉強にも身が入り、「日本めっちゃいいな!」と、気持ちが晴れやかになりました。

ワクワクの毎日

介護の将来性については、お父さんから、日本の高齢化のように、中国も本当に近い将来高齢化を迎えること、その時には介護人材が不足するので、中国でも介護が職業として有望、と聞いていました。

日本に来て介護の勉強を始め、介護が楽しくなり、仕事の意義がわかり、さらに、実習や施設でのアルバイトで「日本の介護」に直に接し続けることで、介護は、郭さんにとって“人生そのもの”と言っていい存在になっていきました。

正職員として介護の現場で働く今は、「高齢者の皆さんがともいとおしく感じられ、ワクワクしながら出勤する毎日です!」と笑顔で語る郭さん。目指す介護は、「優しい介護」。ご利用者さまだけでなく、職員も含め“大きな家族”として毎日を過ごすことが理想です。



姉妹で描く将来像

介護は、人の役に立ててすごく楽しいと感じ、郭さんは、看護師として中国で働いていた姉の燕秋(エンシュウ)さんにも、「絶対いいから!」とIGLに留学を勧めます。ここでもお父さんの支援があり、1年間の日本語留学を経て、今年4月、IGLの介護福祉学科に進学しました。先輩介護福祉士としてお姉さんの勉強もバックアップし、将来は、姉妹で同じユニットで働くことを夢に描いています。

今は日本で仕事を楽しみ、成長だけを考える毎日ですが、いずれ日本の看護師の資格も取得し、看護・医療の知識も持つ専門的な介護人材として日本で活躍し続けることができたら、と願っています。



お姉さん(右)と

IGL医療福祉専門学校には現在、200名を超える留学生が在籍し、そのうち介護福祉学科では、郭燕秋さんをはじめ7名が介護福祉士を目指して勉強しています。日本の介護人材不足の解消とともに、母国の将来の“介護”の確立のため、IGLは、グループをあげて応援していきます。

家庭的なぬくもりの中で その人らしい暮らしをささえる

一人ひとりが望まれる、「その人らしい暮らし」を続けることが出来るよう、IGLではご利用者さまを敬い、家族のように愛する気持ちで心の交流を大切にしています。随所に「もてなしのこころ」が感じられるこだわりの施設をはじめ、ユニットケアやDT（気ばらし療法）など、生きる意欲を引き出すさまざまな取り組みは、地域の元気を生み出す拠り所となっています。

IGLナーシングホームシャレー

平成30年4月1日に、ユニット型介護老人福祉施設ナーシングホームシャレーが2ユニット（しらかばユニット10名・メイプルユニット10名）増床しました。新しく入居される方をお迎えし、ますます賑やかになってきました。

入居者の皆さまを真心こめて気持ちよくお迎えするために、また働くスタッフ全員の意識を統一するために開設前研修を行い、各ユニットで「理念」を考える時間を設けました。IGLの理念である「隣人愛」を念頭に置き、自分達のユニットでは具体的にどのように支援に結びつけていくのか話し合い、何時でも基本に立ち返ることができるように各ユニットで掲示しています。



楽しい行事計画中!

入居者の皆さまの「暮らしの場・住まい」であることをいつも考え、「ここを選び、ここで暮らすことができ良かった」と心から思っていただけのような場所を目指すことへの意識統一ができました。

今後、ユニット内やユニットを越えて気晴らし療法、お誕生日会など様々な行事を企画していきます。6月には毎年恒例、大好評の「お寿司パーティー」を計画中です。お寿司屋さんが目の前で握ったお寿司は格別です。お楽しみに。



お引越し
されてきた
入居者の皆さま

ご家族さまも
一緒に
記念撮影♪



ご自分のお部屋として
作り上げていただくため、
馴染みの家具も
持ち込んでいただきます

施設紹介

リビング



談話
コーナー



Staff's Voice

お一人おひとりの思いを大切に、ゆったりとした温かみのあるユニットにしていきたいと思っています。

しらかばユニット リーダー
柳井祐美子



Staff's Voice

入居者さまの笑顔が多く、心地よく暮らしていただけるようスタッフ一丸となって頑張っていきたいと思っています。

メイプルユニット リーダー
榊 亜梨紗



介護老人福祉施設 IGLナーシングホームシャレー

〒731-0154 広島市安佐南区上安6丁目31-2

TEL 082-830-3321 FAX 082-830-3327



幸せをささえるもの クオリティー オブ ライフは健康から

ベルローゼ・デイケア

ベルローゼ・デイケアでは、リハビリを強化しております。毎日昼前にはノルディックウォークという2本の杖を使い、姿勢を正して安定して歩くりハビリをしております。

又、マシントレーニングでは、腹筋や脚の力をつけるように皆さまご利用時には積極的にトレーニングをされています。ご利用者さまからは「バスに乗れるようになったよ」「近所のスーパーまで一人で行けたよ」などの声も聞かれます。

クラブ活動も充実しております。パソコン教室、陶芸教室、楽描き教室など参加したい活動に参加できます。

今後も更なるリハビリの強化と新しいクラブ活動を作るなど、スタッフ一同努力して参ります。



パソコン教室

両手を使ってパソコンが打てるようになりました



楽描き教室

何度も色鉛筆を重ねて写真とそっくりにします



マシントレーニング

住み慣れた自宅で暮らすため、リハビリを頑張ります!



書道クラブ

自宅でも練習するようになりました



陶芸教室

土を触ることでストレス発散! 作品の出来上がりが楽しみです。

皿やコップ、花瓶などそれぞれ徐々に難しい物に挑戦されます

墨の匂いで気分が落ち着きます。

お問い合わせ：ベルローゼ・デイケア 〒731-154 広島市安佐南区上安6-31-1 TEL.082-830-3339

生涯健康づくり。健康生活を通じて幸せをサポートしましょう。

「未病」 IGL鍼灸マッサージ治療院 鍼灸師 山本竜正

「未病とは病気ではないが健康でもない状態で、自覚症状はないが検査結果に異常がある場合と、自覚症状はあるが検査結果に異常が無い場合に大別される。」とあります。「未病」は古来中国から伝わる予防医学の原点で、その言葉は今から約2000年前

の中国の医学書「黄帝内経(こうていだいけい)」に見られます。ここでは病気になってからではなく病気になる前の治療こそが重要だと書かれています。

不調を感じたら、それは未病の始まり

このごろ、何となく体がだるい、体が冷える、疲れやすいとか、頭痛やめまい、不眠や食生活の乱れで胃腸の不具合などといった体の不調を感じる症状はありませんか? こうした自覚症状があるということがすでに未病の状態です。人によって症状はさまざまですが、未病と気付いたら早目のケアをすることが重要なポイントです。



未病を防ぐ生活習慣

食事 睡眠 運動

年齢と共に「気(生命エネルギー)」は徐々に減っていき、疲れやすい体になります。疲れをためないよう生活習慣を見直しましょう。

<p>朝</p> <p>朝は1日の生活リズムを整える大事な時間です。毎日決まった時間に起床し朝日を浴びると体内時間が整います。</p>	<p>昼</p> <p>日中は「気」を巡らせることを心がけて、疲れやストレスを溜め込まないためにも体を動かしたり、上手に気分転換する時間をつくりま。ウォーキングやストレッチなども良いでしょう。</p>	<p>夜</p> <p>夜はリラックスして過ごし気を整えます。リラックスには少しぬるめのお湯に浸かることもお勧め。血液循環がよくなり新陳代謝も高まることで疲れもとれやすくなるでしょう。そして、快眠のために食事は寝る3時間前に済ませ胃に負担をかけず、質の良い睡眠で疲れを解消しましょう。</p>
--	---	---

食事は大切です。腹八分目に気をつけ、胃腸に負担をかけず、食材のバランスにも心がけましょう。



隣人愛の原点

『信仰のジャンプ』 広島福音教会牧師 加藤 望

春が巡ってくると、野球好きの私にとって「球春到来」という言葉が「季語」のように響いて胸が躍ります。

ところで、今年の野球界の大ニュースとして、アメリカ大リーグのエンジェルスで大活躍している、投手と打者二刀流の大谷選手が挙げられるでしょう。投げでは時速160km超の剛速球と鋭く落ちるスプリッターでバットバットと三振を取り、打ってはホームランを三試合連続で打ち、全米の野球ファンが驚きをもってこの若武者を歓迎しています。日本にいる私たちが誇りに思っています。でもかつて大リーグでプレーした野茂投手がそうであったように、大谷選手も日本人とかアメリカ人とか国や人種に関係なく、「野球人」として最高峰の舞台でプレーできる喜びを感じているのだと思います。野球人・大谷選手として応援したいですね。

ところで、野球の魅力は豪速球投手やホームランを打つ強打者だけではありません。信じられないような「ファインプレー」を見せてくれる守備の名手の存在も忘れてはいけません。野球の華、それは華麗な守備なのです。かつてボストン・レッドソックスにココクリスプという外野手がありました。決して身体は大きくないのですが、足の速さと抜群の身体能力でいくつものファインプレーを演じた選

手です。2006年夏の試合でのことです。左中間を抜けようかという痛烈な打球を、センターを守っていたクリスプ選手がスーパーマンのように横っ飛び。地面すれすれでその打球をキャッチしたのです。大歓声が沸き起こり、実況中継していたアナウンサーも絶叫して、「なんというプレーだ。今まで見たことのない最高のプレーだ」と絶賛しました。試合後のインタビューで「あの打球を追っているとき、頭に去来した思いは?」と聞かれると、クリスプ選手は「追いつけるとは思わなかった。でも、なんとか捕球しようと心に決めて信仰のジャンプ(leap of faith)をしたのさ」と言いました。

信仰のジャンプ。何と大胆で、しかし実行するのが難しい言葉でしょう。失敗を恐れて一歩を踏み出さなければ、あなたの人生に幸せはやってきません。人間関係のもつれ、愛する人の病、仕事上の失敗等々、困難な問題が目前に迫ってきたとき、「神さま、お助け下さい」と神に信頼して祈りつつ、その状況から逃げないで、飛び込んでいくのです。そのとき神の力があなたの心を支え、謝る勇気や問題解決の知恵を与えてくれます。





隣人愛はやがてみんなのもとへ。 **IGL**は地球の未来と共に歩みます。

International Gospel League (国際福音連盟)

IGL (インターナショナル・ゴスペル・リーグ・国際福音連盟)は、米国カリフォルニア州のパサデナという町に本部を置き、世界各国にある福音主義の教会を援助していた団体です。当グループも精神的母体である広島福音教会が、昔困窮しているときに助けていただき、これを永く記念する意味で名称とさせていただきます。



サムエル美鈴が丘こどもの園



サムエル未来こどもの園



サムエル信愛こどもの園



サムエル薬師が丘こどもの園



サムエル広島こどもの園



サムエル広島こどもの園分園



サムエル東広島こどもの園



サムエル西条こどもの園



IGL医療福祉専門学校



特別養護老人ホーム
ナーシングホームゆうゆう



特別養護老人ホーム
第二ナーシングホームゆうゆう



介護老人福祉施設
IGLナーシングホームシャレー



介護老人保健施設 ベルローゼ
ケアハウスふれ愛



グループホームゆうゆう



高齢者複合施設
アルペンローゼ



IGL高齢複合施設 西風新都



IGL高齢複合施設
ベルビュー広島



IGLふれ愛ケアセンター



IGLふれ愛ケアセンター
美鈴が丘



健康増進施設
クリアウムシャレー



ジャパン・スイミングスクール
広島



日本ホーリネス教団
広島福音教会



IGL高齢複合施設
ベルビュー河原町

学校法人IGL学園

サムエル美鈴が丘こどもの園	TEL 082-928-4123
サムエル薬師が丘こどもの園	TEL 082-928-1414
サムエル信愛こどもの園	TEL 082-879-8879
サムエル未来こどもの園	TEL 082-849-6161
IGL医療福祉専門学校	TEL 082-849-5001

社会福祉法人IGL学園福祉会

サムエル広島こどもの園	TEL 082-878-8877
サムエル広島こどもの園分園	TEL 082-830-3325
サムエル東広島こどもの園	TEL 082-420-4333
サムエル西条こどもの園	TEL 082-424-3000
特養)ナーシングホームゆうゆう	TEL 082-838-3333
特養)第二ナーシングホームゆうゆう	TEL 082-838-3334
介護老人福祉施設IGLナーシングホームシャレー	TEL 082-830-3321
介護老人保健施設ベルローゼ	TEL 082-830-3333
グループホームゆうゆう	TEL 082-838-3434
IGLグループホーム西風新都	TEL 082-848-3373
ケアハウスふれ愛	TEL 082-830-3334
ケアホームアルペンローゼ	TEL 082-830-3233
ケアホーム ベルビュー広島	TEL 082-235-3380
IGL小規模多機能型居宅介護西風新都	TEL 082-848-3363
ゆうゆうショートステイ事業所	TEL 082-838-3333
第二ゆうゆうショートステイ事業所	TEL 082-838-3334

ショートステイアルペンローゼ	TEL 082-830-3422
IGLショートステイシャレー	TEL 082-830-3321
IGL居宅介護支援事業所ベルシャレー	TEL 082-830-3366
IGL居宅介護支援事業所アルペンローゼ	TEL 082-830-3377
IGL居宅介護支援事業所ゆうゆう	TEL 082-838-3339
IGL居宅介護支援事業所美鈴が丘	TEL 082-926-3904
IGL居宅介護支援事業所ベルビュー広島	TEL 082-235-3383
IGL居宅介護支援事業所ベルビュー河原町	TEL 082-291-6860
IGL居宅介護支援事業所西風	TEL 082-848-3395
IGL居宅介護支援事業所シャレー	TEL 082-830-3326
IGLデイサービスゆうゆう	TEL 082-838-3100
IGLデイサービス第2ゆうゆう	TEL 082-838-3349
ベルローゼ・デイケア	TEL 082-830-3339
IGLデイサービスアルペンローゼ	TEL 082-830-3337
IGLデイサービスあさひが丘	TEL 082-810-4788
IGLデイサービス西風新都	TEL 082-848-3358
IGLデイサービス美鈴が丘	TEL 082-926-3901
IGLデイサービスベルビュー広島	TEL 082-235-3381
IGLデイサービスベルビュー河原町	TEL 082-291-6866
IGLデイサービスシャレー	TEL 082-830-3323
IGL SWAN	TEL 082-218-0897
IGLヘルパーステーションゆうゆう	TEL 082-810-4678
IGLヘルパーステーション美鈴が丘	TEL 082-926-3903
IGLヘルパーステーションベルビュー広島	TEL 082-235-3382

IGLヘルパーステーションシャレー	TEL 082-830-3324
IGL訪問看護ステーション	TEL 082-830-3375
IGL福祉用具貸与事業所	TEL 082-838-3343
広島市清和・日浦地域包括支援センター	TEL 082-810-4688
健康増進施設クリアウムシャレー	TEL 082-830-3330
IGL訪問サービス上安24	TEL 082-830-3331
IGL鍼灸マッサージ治療院	TEL 082-830-3420

医療法人社団IGL医療会

クリニックアルペンローゼ	TEL 082-830-3350
歯科クリニック・エーデルワイス	TEL 082-810-4680

株式会社エーデルワイス

株式会社 エーデルワイス	TEL 082-830-3336
--------------	------------------

株式会社アイジーエル

ジャパン・スイミングスクール広島	TEL 082-872-2344
------------------	------------------

宗教法人IGL

日本ホーリネス教団広島福音教会	TEL 082-928-4166
-----------------	------------------

NPO法人

IGLヒューマンリソースネットワーク	TEL 082-830-3355
--------------------	------------------

<http://www.igl.or.jp>



IGLグループ本部

〒731-0154 広島県広島市安佐南区上安6-31-1
TEL 082-830-3355 FAX 082-830-3388

総合フリーダイヤル ☎0800-222-5666

いつの時代も、隣人愛のもと、よりよき社会づくりを願ってきたIGL。そのIGLをささえる理念や、活動の背景にある考え、実際の取り組みなど、グループの全貌をお伝えするプロフィール・ブックとして編集しております。

(創刊号 1976年10月発行)